

みなさんお元気ですか？寒さが厳しくなり冬らしくなりましたね～風邪を引かないように気をつけましょう♪
小豆沢病院では患者さんを招待してクリスマス会を開催するため準備をしています☆歌やゲームと一緒に楽しむ時間を過ごします♪



土曜講座

日程	メニュー	講師
7/18	認知症について学ぼう	看護師
9/19	足浴の実践	看護師
10/17	移乗介助の方法	看護師
11/21	一時救命処置の実践	看護師
12/19	採血の実践	看護師
1/16	糖尿病について学ぼう・栄養指導	栄養士
2/6	口腔ケアの実践	看護師

12月19日 採血の実践

12月の土曜講座は採血の実践です。まだ学校で習っていない学生さんでも大丈夫ですよ♪ 採血といっても色々な方法がありますし、血管の名称や神経の走行なども考えながら実施しますね。そんな基礎知識から手順の流れなどを学習し、腕モデルで実践をしましょう☆患者さんに苦痛を与えない声かけなども現場看護師に聞いてみましょう♪

13:50 小豆沢病院外来待合室集合

申し込み方法は簡単です

電話かメールで参加しますと伝えるだけです。当日は動きやすい服装と筆記用具持参で参加してください。資料の準備などがあるため12/15(火)17時までに申し込みをお願いします。

電話：03-3968-7993 (看護学生室直通 担当者：村上、峠)

メール：kangakusei@kenbun.or.jp

学校名、学年、名前を記入し土曜講座参加とメールしてください。

新人研修 レポート

入職6ヶ月のまとめ研修を行いました。小豆沢病院は一年目看護師の診療所配属を行っており、病棟スタートと診療所スタートの一年目看護師がいます。半年間で印象に残った患者さんのこと、嬉しかったことなどその他、職場での様子やできたことを共有し、意見交換しました。

往診患者さんに顔を覚えてもらえ、採血の実施も失敗せずに行えるようになりました。



患者さんから「今日はあなたが担当してくれるのね。嬉しいわ。」と言ってもらえ、やりがいを感じました。



クリスマスボランティア募集

今年もクリスマス会の季節になりました！小豆沢病では毎年職員が患者さんを招待し歌やゲームで患者さんに楽しんでもらうクリスマス会を行っています。看護師、技術職、リハビリ、事務などが集まり『みんなで楽しい時間を過ごしましょう』をコンセプトに準備を進めています。今回はクリスマス会にボランティアとして参加してくれる学生さんを募集します。会場までの車いす搬送や付添などをお願いします。

12月22日 (火)



14時集合 16時終了

12/15(火)までに参加申し込みをお願いします。動きやすい服装でお越しください。初めての学生さんも大歓迎です

申し込みはこちら

電話：03-3968-7993

メール：kangakusei@kenbun.or.jp



↑ 昨年の様子
事務を中心に医師、看護師によるバンド演奏でクリスマスソングを歌いました



職場watch

今回は小豆沢病院2階病棟の紹介です。いつでもインターンシップに来て下さいね!



こんにちは!小豆沢病院2階病棟に所属しています、看護師の村上と言います。今回は、先日病棟で行われた救急シミュレーションについて、紹介させていただきます。

急変の対応は、一言で言ってしまうと、やることは大きく変わらないので数をこなして経験を積んでゆけば対応できるようになると言われていますが、若手看護師は経験が少なく、また急変した状態は当病棟では多くはありません。そのため、急変の状態を想定したシミュレーション練習は、いざというとき体が動くようにするための「確認」の場になるのです。私が初めて急変にあったとき、とても手が震え、いつも難なく行っていた薬液を注射器で吸うという行為すらも時間をかけてしまい、先輩看護師の指示でしか行動できず、苦い思いをしたのを思い出します。急変対応の大まかな流れとしては、

【急変している患者さんを発見→意識レベル、脈拍、呼吸の状態を確認→応援(医師・看護師)を呼び、心停止の状態であればすぐに心臓マッサージを行う→応援で呼ばれた看護師が救急カート、除細動器、モニター、人工呼吸器などの必要な物品の準備をする→看護師は外回りをする人、点滴の針を留置する人、心臓マッサージをする人、記録をする人など必要な役割を分担して動く→除細動器

は医師のみが使用可能。また医師の指示で昇圧剤(血圧をあげる)の注射の薬、補液などの投与を行う→挿管の介助を行う→人工呼吸器につなげる】となります。患者さんの状態によっては項目の順番が変わります。この間、心臓マッサージは、自己心拍が再開するまで行いますが、開始から30分が中止の目安の一つになっていて、その患者さんの基礎疾患や年齢、瞳孔・脳幹反射などを合わせて継続の判断を医師が行います。(30分以上経過すると蘇生成功は難しくなり、心拍が回復してもその後の転帰は良くない)また、病院では家族が希望されれば、家族が到着するまで心臓マッサージを行うこともあります。

救急シミュレーションは今後も定期的で開催することとなっています。繰り返しの練習と、勉強で、いざというとき、患者さんの命を守るよう、精進したいと思います。



奨学生を募集しています!!

小豆沢病院の奨学生制度はお金だけの関係ではなく、毎月奨学金を受けている学生が同じ日に集まり学校での悩みや今やっていることなどを報告したり、医療の情勢を学んだりしています。奨学生になる時期や学校はバラバラですが将来同じ病院で働く仲間として学生時代からの関わりを大切にしています。

<応募資格>

- ・看護師・保健師養成機関在学者または入学決定者。
- ・養成機関卒業後当院に就職する意志があり、奨学生活動に参加できる者。

<給付金額>

月額/5万円 返済なし
東京都、日本学生支援機構など併用可

<奨学金説明会>

12月22日(火)

11/22に行われたNEFに参加しました。貧困がテーマで学び、豊かだと言われる日本の貧困率の高さ、格差が広がっている医療にかかりたくても我慢している人がいる事などSOSが出せない人がいる事を忘れてはいけないと思いました。決して他人事ではないテーマでした。



2016年卒募集中!!

地域を支える医療・看護

一緒にやりませんか

病院見学説明会

インターンシップ付き



私たちの病院は、いつでも、どこでも、だれでも安心して受けられる良い医療を地域の人々とともに作りあげてきました。私たちは、患者さまの生活や労働の実態も見つめ、豊かに人間らしく生きることができるよう援助することをめざし、「やさしさと思いやり」を抱いて患者様を看護しています。「患者さまのことを一番に考える看護師になりたい」そんなあなたを私たちは求めています。ぜひ、見学にいらしてください。

随時開催

申し込み・問い合わせ

小豆沢病院看護学生室 峠・村上
直通電話:03-3968-7993
mail:kangakusei@kenbun.or.jp

全てのお申込、お問合せは小豆沢病院学生室(村上・峠)まで

直通TEL:03-3968-7993 E-mail:kangakusei@kenbun.or.jp
携帯TEL:080-1236-0698

小豆沢病院学生室は看護学生の応援をする事で、将来一人でも多くの看護師が誕生する事を願っています。そのために看護体験や土曜講座など様々な企画を行ない、通信を中心にして参加を呼びかけています。また、それ以外こちらから病院及び関連施設におけるボランティアのご協力をお願いする事もあります。皆さんの個人情報はそのための為に活用しています。お申し出があった時には通信の停止、名簿からの削除を速やかに行ないます。

